

令和4年度中井町環境審議会議事録

開催日時 令和4年8月19日（金） 10時00分から
開催場所 中井町役場 3階 3C会議室
出席委員 尾上輝美、中西和美、古宮祐二、相原榮司、鶴井淳、田中晃
藤吉正明、小澤勲、加藤彰吾
事務局 環境上下水道課 須藤課長、藤澤班長、綾部主事

1. 開会（須藤環境上下水道課長）

本日は、お忙しいところ、また、新型コロナウイルス感染症における第7波の感染が拡大しているなか中井町環境審議会にご出席いただき誠にありがとうございます。簡単に審議会について説明させていただきます。中井町環境審議会は町環境基本条例に基づき設置され、町長の諮問に基づき環境基本計画の策定及び変更や環境の保全に関する事項を調査、審議し意見を述べることの出来る機関となっています。また、計画に定める各種施策の点検・評価を行っており、担当課による一次評価及び環境基本計画推進委員会による二次評価がまとまりましたので、本日はこれらについて総合的なご意見を頂きたいと思っております。

なお、本日は委員の過半数の出席を頂いておりますので、中井町環境審議会規則第4条第2項の規定により、本会議は成立します。

また、事前に委員名簿を配布させていただきましたが、村上委員、田中委員、加藤委員につきましては、異動等により変わられておりますので本日出席いただいております田中委員、加藤委員につきましては、委嘱状を卓上配布させていただいておりますので氏名等に誤りがないか確認をお願いします。

2. 議事

審議会規則第4条1項の規定により、会長が議長となり議事を進行する。

(1) 中井町環境基本計画の点検・評価について

5つの環境像に分けて、事務局より説明。

① 地球温暖化対策の推進について

委員 評価シートに前年度とあるがこれは、令和3年度ですか、それとも2年度ですか。

事務局 令和3年度の実績となります。

委員 前年度だとわかりにくいので次回からは○年度と表記していただきたい。また、前々年度も表記すると比較ができるのでそうしていただきたい。

事務局 次回より、○年度と表記し、2年間分掲載します。

委員 太陽光発電システム設置補助事業で目標が10基となっているがこれは、太陽光発電設備なのかそれとも蓄電池やHEMSも加えた件数ですか。

事務局 太陽光発電設備で10基目標としております。

委員 蓄電池やHEMSの設置が増えてきているなか、太陽光発電設備だけでなく、蓄電池やHEMSを含めた目標件数に変更した方が良いのではないかと。

事務局 今後、目標件数の変更を検討するにあたってはそれぞれの目標件数を設定するのか、合計にするのかを含めて検討していきたい。

委員 町で太陽光発電を推進しているが、売電価格も下がっており、また、廃棄時も金額が掛かるということで、購入者のメリットがみえない。

事務局 太陽光発電の廃棄については、再資源化の技術開発も進んでいくのではないかとおもっております。今までは、買取価格が高かったので売電ありきで太陽光パネルを設置していたが、今は、電気代も高騰してきているので太陽光パネルと蓄電池をセットで購入すればメリットはあるのではないかと思います。また、国の方では、高い省エネ性能を持ち、かつ太陽光発電などで電力を自給自足できるZEH（ゼッチ）関連の補助金に力を入れています。町の方では、太陽光発電等単体でも補助金が出るので、国の補助金の対象とならない隙間の補助をやっている状況です。

委員 太陽光発電の補助金はいくらですか。

事務局 住宅用太陽光発電システム設置補助金は、1KW当たり15,000円で上限52,000円。住宅用蓄電池設置補助金は、1件50,000円。HEMS設置補助金は、1件10,000円です。

委員 行政がこのような事業に取り組むということは、基本的には地球環境への配慮ということでCO2の排出抑制を進めていくということです。

今は、事業所と町民と2つの柱があり、事業所については地球環境への配慮をしないと社会的に認知されないということで自助努力としてやってもらえばよいのですが、町民の方々については難しい状況です。私は、3ページにある環境家計簿をスマホアプリなどでもっと簡単に入力できるようにして、太陽光発電やエコドライブなど自分がやったことに対してどれだけCO2が削減できているかがみて、実感できるような「見える化」が必要だと思います。その「見える化」を今後、取り組んでいっていただけたらと思います。

委員 説明の中で、次回の基本計画の見直し時に水力発電についても研究していくとあったが具体的に場所など決まっているものがありますか。

事務局 中井町では、太陽光発電のイメージが強いので、水力発電など太陽光発電以外に中井町にあったエネルギーを研究していくということです。

会長 環境家計簿参加者数ですが、補助金受給者以外に提出された方はいられますか。

事務局 令和3年度はいませんでした。

会長 スマホアプリで、入力する環境家計簿のアプリはありますか。

事務局 当町と同じようなエクセル形式のものは見たことがありますが、スマホアプリは見たことはありません。

② 循環型社会の実現について

委員 食品ロス対策について、私はとても大切なものだと思っています。食べ物を大切にするという食育の観点がすごくあると思うので、今後、教育課と連携をとって進めていってもらいたいとおもいます。今回の食ロス調査の結果はホームページなどで公表していますか。また、今後も継続して行っていきますか。

事務局 令和4年度の環境月間で食ロス調査の結果を改善センターと井ノ口公民館に掲出し公表しました。また、今後につきましては、今年度より調査を11月に変更し引き続き行っていく予定となっております。

委員 不法投棄のカメラは全部で何台設置していますか。

事務局 録画できるカメラは、現在設置しておりません。

委 員 捨てられる場所も同じようなところが多いので、今後は、録画できるカメラも設置していただきたい。

会 長 防犯カメラの設置については、警察が設置することとなっているのですか。

事務局 警察ではなく町で設置することとなります。防犯カメラの設置に関しましては、設置後の維持やメンテナンスにも費用がかかってきてしまうため、リースを含めて検討をしているところです。また、県でも防犯カメラを半年間設置する事業があり、中井町でも要望はしていますが実現はされていない状況です。

委 員 不法投棄は、減少傾向にあるとありますが、やっぱり量は多いのですか。

事務局 最近の傾向としては、コロナ禍ということもあるのか事業系のごみが捨てられることが多いです。

委 員 捨てられたごみについては、税金を使って回収するのですか。

事務局 道路などの官地については、町で回収しますが、それ以外については、基本的に土地の所有者に処分してもらいます。

委 員 過去には、捨てられやすいところにフェンスなどを設置していたが、今はやっていないのですか。

事務局 昔は、崖の下に不法投棄をすることが多かったのでフェンスを設置していたこともありましたが、今は、道路脇とかで手入れがされておらず、草などが生い茂っているところに捨てられることが多くなっているため、フェンスは設置していません。

委 員 ごみの問題というのは、いつまでやれば良いという問題ではないので、買い物に行ったときや、図書館に本を返しに行ったときに、ついでにごみの分別収集ができるような、簡単などころからみんなが参加できるようなことを検討したらよいかと思います。

③ 自然環境の保全について及び④生活環境の保全について

委 員 町内一斉清掃ですが、以前はコサ切りも一緒に行っていましたが今は、行っていません。そのため道路に草木が茂ってしまっていますが、町としてはどのように対策をしていますか。

事務局 町内一斉清掃にあわせて、まち整備課から報酬が出ているコサ切りを

やっている自治会は今現在もあります。民地の草木については、基本的には、土地の所有者に管理を行ってもらいますが道路の通行に支障をきたす場合は、町で整備をします。また、個人で整備をする場合は、整備費用の一部を助成する制度もあります。

委員 町内一斉清掃の説明で、学校の社会教育活動の一環の中でと説明がりましたが、どのようなイメージをもって提案をされたのですか。

事務局 自治会加入者及び一斉清掃参加者の高齢化が進んできていることから、若い世代の参加者を増やすにはどうしたら良いのかを考えたときに、小中学生に参加をしてもらえば、町をきれいにしようということも学べますし、子供が参加することによって保護者の参加も見込めます。また、保護者が参加することによって、自治会加入者との交流ができ相乗効果が期待できるからです。また、参加の周知方法については今後検討していきたいと思っております。

委員 今学校では、授業数を確保するのがとても難しい状況で、授業の一環として休日に行うことと、そこへ職員を派遣することは現状難しいとおもいます。

事務局 防災訓練の時のような授業としての活動ではなく、子供に周知することによって自治会未加入者の参加へのきっかけづくりになれば良いと思っております。

委員 学校の実情も分かったので強制的に参加するのは無理ですが、将来に向けて若い人たちに参加してもらうことはよいことだと思います。また、地元の企業の参加はどうなっていますか。

事務局 グリーンテク等の事業者が集まっている環境を良くする会で町内一斉清掃にあわせてごみ拾いをしてもらっております。

委員 井ノ口の河川清掃ができていないようだが、葛川自治会や桜を育てる会などの井ノ口地区で活動している団体に声をかけて河川清掃をやってもらうのも一つの方法だと思います。

委員 学校での環境活動の場ということであれば、中央公園や湿生公園など校外活動に行ったときに、清掃活動の時間を少し設けるなどであれば対応ができるかと思います。また、そのような要望がありましたら校長会などで検討していきたいと思っております。

事務局 今、お話しいただきました清掃活動もそうですし、授業の中でやって

いる環境学習でも、町の職員がお手伝いできることがありましたら検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委 員 中井町環境基本計画推進委員会とはどのような組織ですか。

事務局 環境基本計画に定める施策の進捗状況を評価するとともに、施策の推進方法について意見を求めるための組織で、町民2人、事業者2人、環境に関し知識経験を有する者4人、町職員6人で構成されております。

委 員 生活排水処理工場事業で接続のお願いに訪問をしていると説明がありましたがどのような体制で行っていますか。

事務局 近年は、コロナ禍でもあり自宅訪問はできていませんが、職員が2名1組で下水道への接続のお願いとどのような工事が必要になるのかを説明してまわっていました。

委 員 接続率が上がれば、河川水質なども良くなってくるので、「見える化」などデータでPRするのと維持コストの比較などで下水道接続へのメリットを周知できれば良いと思います。

委 員 子供たちの美化活動ですが、土日はサッカーなど習い事をやっている子供が多いので、子育て世代としては、授業のなかで学べたらよいと思います。

事務局 秋に町内のごみを拾って歩くクリーンウォーキングを町の事業で行っていますが、以前に町内の少年野球チームにも参加してもらっていたことがあるのでそういったところからもアプローチできたら良いと考えております。

⑤ 環境教育・学習の推進

委 員 環境学習で今年度、小田原市と南足柄市で開催したとのことですが、学校からクロムブックも貸出しされているので、オンライン配信のイベントも検討していただけたらよいと思います。

委 員 神奈川県で今年度小学生向けに海洋プラスチック問題の映像教材を作っていますので、完成したら活用していただきたい。

また、環境展等の実施回数目標値が年2回以上となっておりますが、大事なものはイベントの回数ではなく、小さいものでも継続をしていくこ

とだと思えます。

事務局

2市8町で始めたプラごみゼロ宣言ですが、今年度の事業では環境学習を2会場で行うこととなっておりますが、環境学習としては継続して行っていくこととなっておりますので今後は、オンラインでの配信についても会議で検討して行けたらと思えます。

委員

中井町の環境基本計画でも、一人ひとりが主役となり未来へ繋ぐ環境づくり今私たちにできることとなっております。まずは、環境について皆さんに考えてもらうということが大事だと思っております。今後は、できることからしっかり取り組んでいき、次年度も成果を公表できるようにしていきたいと思えます。

(2) 今後のスケジュールについて（事務局より説明）

本日の内容に基づき、議事録と意見書を会長と事務局でまとめ、来月に皆様に送付します。

その後、町長あてに意見書を提出し、また、議事録は町ホームページ公開します